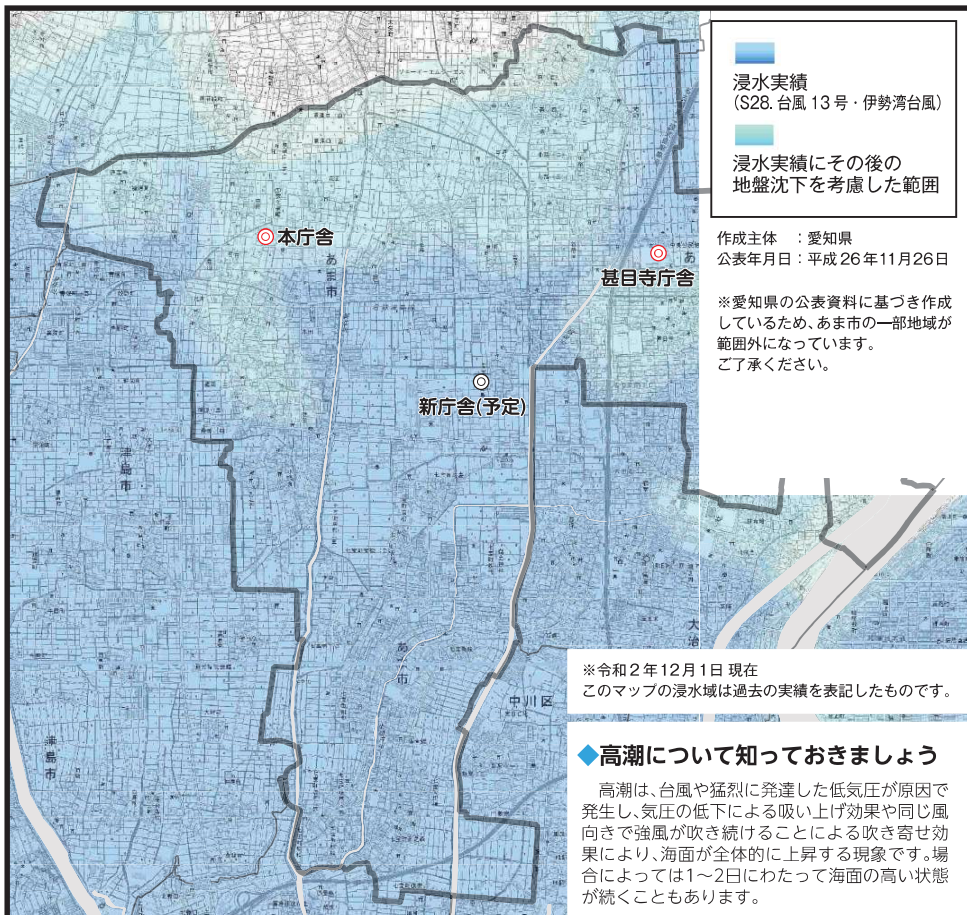


高潮浸水想定



◆高潮について知っておきましょう

高潮は、台風や猛烈に発達した低気圧が原因で発生し、気圧の低下による吸い上げ効果や同じ風向きで強風が吹き続けることによる吹き寄せ効果により、海面が全体的に上昇する現象です。場合によっては1～2日にわたって海面の高い状態が続くこともあります。

○高潮発生要因と危険な場所

【高潮発生3つの要因】

①気圧低下による海面の吸い上げ

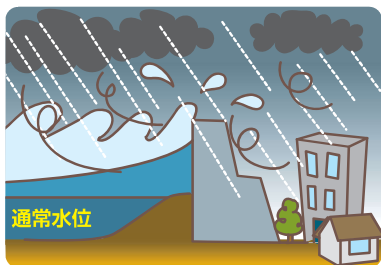
台風や低気圧の中心は周辺より気圧が低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げ、海面が上昇します。

②風による岸への吹き寄せ

台風による強風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が異常に上昇します。

③波浪による海面上昇

大きな波が海岸に向かって絶え間なく押し寄せると、波が沖に戻る事ができず、岸に近い場所に多量の海水がたまるようになり、海面が上昇します。波が大きいほど、波浪による海面の上昇も大きくなります。



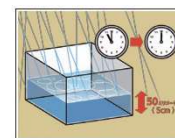
雨と風

天気予報でよく聞く、1時間に50ミリの雨ってどんな雨？



1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。

イラスト：気象庁提供



「1時間に50ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50ミリメートルの高さまでたまる」規模の雨です。



「たった50ミリと思われるかもしれませんが、1平方メートルあたり50リットルになります。傘をひらいたときの面積が概ね1平方メートルなので、1時間傘をさしていると、傘には牛乳パック50本分の雨が当たることになります。

気象庁が発表する防災気象情報を正しく理解し

防災に活用しましょう。

■雨の強さと降り方の目安

予報用語	1時間雨量 (mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
やや強い雨	10以上～20未満	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
強い雨	20以上～30未満	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
激しい雨	30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨が気につく	道路が川のようなになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる (ハイドロプレーニング現象)
非常に激しい雨	50以上～80未満	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
猛烈な雨	80以上～	患苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				車の運転は危険

■風の強さと吹き方

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	おおよその瞬間風速 (m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物
やや強い風	10 以上 15 未満		～50km	一般道路の自動車	風に向かって歩かなくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚が大きくなる。	樋 (とい) が揺れ始める。
強い風	15 以上 20 未満		～70km	高速道路の自動車	風に向かって歩かなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。
非常に強い風	20 以上 25 未満		～90km		何かにつかまっていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根が張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常の速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム (被覆材) が広範囲に破れる。
猛烈な風	30 以上 35 未満		～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯が倒れるものがある。ブロック壁が倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	固定の十分な金属屋根の屋根がめくられる。養生の十分な仮設現場が崩落する。
	35 以上 40 未満		～140km					外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。
	40 以上		140km～					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。

出典：気象庁ホームページ 気象庁が天気予報等で用いる予報用語 (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougu_hp/mokujj.html)

自分で行う風水害への備え

台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。突然起こる地震と異なり風水害の場合、警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり軽減することが可能です。

台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

1. 家の外の備え 大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- ベランダや庭に置いてある植木鉢や荷物類など風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。
- 特に屋根瓦、屋根葺材が、はがれないように定期的に確認しましょう。「強い風」によって瓦などが飛散し、人や物を傷つける恐れもあります。



イラスト：気象庁提供

2. 家の中の備え

- 非常用品の確認 非常持ち出し品を確認 ▶P85

● 室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

● 水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



イラスト：気象庁提供

3. 避難する場所の確認など

- 学校や公民館など、避難所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。

避難所を確認 ▶P1~

- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。



イラスト：気象庁提供



地震編

地震への備えは大丈夫？

▶P66

地震にあったらどうすべき？

▶P67

南海トラフ地震って何？

▶P68

液状化現象って何？

▶P71

避難所はどこにあるの？

▶P1~

災害情報の入手方法は？

▶P83

地震編 INDEX

- 日ごろからの準備と心構えP.66
- 震度とゆれの状況P.70
- 震度分布マップP.72
- 液状化危険度マップP.73
- 建物倒壊危険度マップP.74・75
- 津波浸水予測マップP.76・77

本誌のマップは愛知県が公表した南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、最大クラスの地震データを基に地図上に示したものです。



ハザードマップは市公式ウェブサイトでも確認できます。



日ごろからの準備 自分で行う地震への備え

■ 建物の備え 地震の際に被害を抑えるために、建物の備えを確認しましょう。

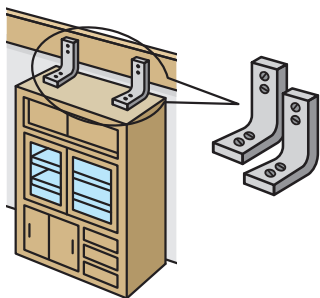
- 高いところに花瓶など割れると危ないものはありますか
- 食器棚や家具は固定していますか
- 屋根、瓦などに割れやズレはありませんか
- 照明器具はしっかりと取り付けられていますか
- ガスボンベは固定されていますか
- 窓枠のがたつきやガラスのひび割れはありませんか
- ガスボンベの周りに燃えやすい物は置いていませんか
- 壁にひび割れやぐらつきはありませんか
- 風呂の水はためていますか
- ストーブをふすまやカーテンの近くで使用していませんか
- テレビや水槽は低いところに置いていませんか
- 部屋の入口・扉付近に倒れやすい物はないですか？
※救助時の妨げになるかもしれません。
- 控壁はありますか
- 寝るところの近くに本棚などありませんか

部屋の入口付近に倒れやすいものは置かない！万が一の時、救助活動に支障がでる恐れがあります。

市のサポートを活用しましょう

■ 家具転倒防止器具取付支援事業

市では、家具の転倒による被害を最小限に抑えるために、高齢者の属する世帯、障がい者の属する世帯などを対象に、家具転倒防止器具を1世帯1回に限り、3点まで無料で取付けしています。



対象となる世帯についての詳細は市公式ウェブサイトを確認ください。

- 申込場所** 安全安心課、七宝市民サービスセンター、碓日寺市民サービスセンター
- お問合せ** 総務部 安全安心課 電話:052-444-0862

日ごろからの心構え 地震にあったら

自宅

●丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。
※机の棚の中身に注意してください。また、頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。



台所

●まずは、テーブルなどの下に身を伏せ、揺れが収まるのを待ちましょう。
●無理して火を消しに行くや調理器具が落ちてきてやけどなどをしたりするの、揺れが収まるまで待ちましょう。
●揺れが収まったら落ち着いて火を消しましょう。



寝ているとき

●揺れが目覚めたら寝具にもぐりこむかベッドの下に入れる場合はベッドの下に入り、身の安全を確認しましょう。



運転中の場合

●急ブレーキを踏めば予想外の事故を引き起こすことにつながりますので、ハザードランプをつけて、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車しましょう。
●避難の必要がある場合は、車のキーはつけたままにし、ドアをロックしないで、窓を閉めましょう。
●連絡先を見えるところに書き、車検証などの貴重品を持ち、徒歩で避難しましょう。



住宅地

●強い揺れに襲われると、住宅地の路上には落下物や倒壊物があります。
●ブロック塀や石垣、電柱や自動販売機も倒れてくる可能性がありますので、そばから離れましょう。
●屋根瓦やエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくる可能性があります。頭の上も注意しましょう。



揺れがおさまったら

身の安全の確保

●まずは周囲を確認。身の安全を確保しましょう。
●あわてて行動すると、転倒した家具類、飛び散ったガラスの破片等でケガをする恐れがあります。
●小さな揺れの時、又は揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確認しましょう。



避難の判断

●正しい情報に基づいた判断を！それがあなたの運命を左右します。
●災害が発生したときにはデマが飛び交いがち。噂に惑わされず、テレビ、ラジオ、市役所等からの情報に注意し、正しい状況の把握に努めましょう。
●身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難しましょう！



避難の行動・家を出るとき

●避難するときは周囲を確認。思わぬ事故に遭う恐れがあります。
●外に出るときも周囲の確認を。ガラスや看板等が落ちてくる可能性があります。
●避難する時には、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。
●我が家の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認しましょう。



避難の行動・火災に遭遇した場合

●火災では煙が死亡要因の多くを占めています。冷静な避難行動をとりましょう。
●煙が部屋や廊下に充満してきた場合は、ハンカチやタオルなどで口・鼻をしっかり覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くして避難しましょう。

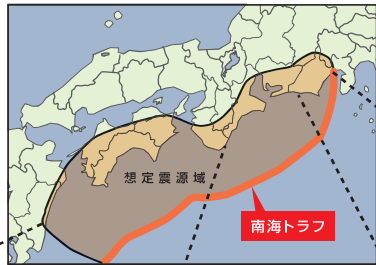


※消防庁防災マニュアルを参考に作成しました。

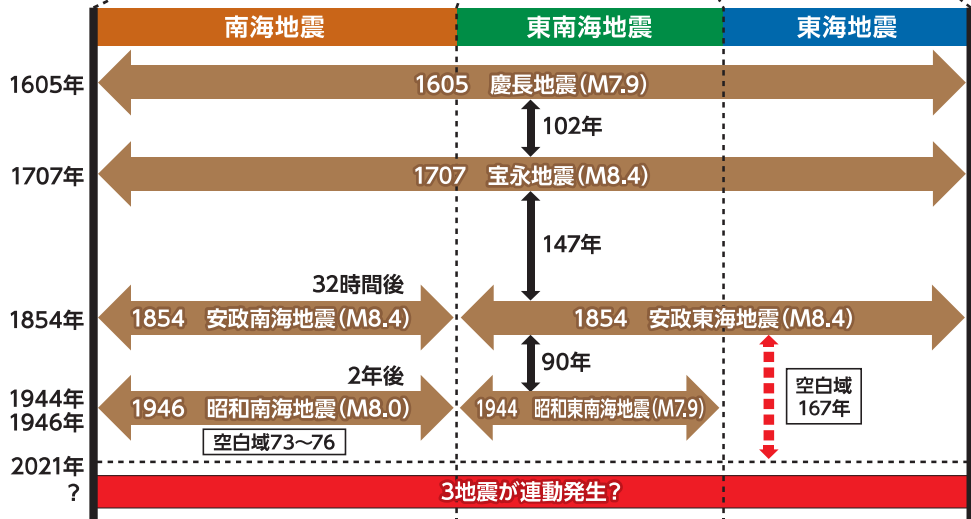
南海トラフ地震

南海トラフは大規模な活断層で、約90年～150年の間隔で地震を発生させてきました。

将来の地震発生の可能性は、**M8～9クラス**の地震が**30年以内に約70%の確率**で起こると予測されています。



**巨大地震が
いつ起きても
おかしくない!**



あま市の被害想定

想定時間帯 (冬夕方18時)		過去地震 最大モデル	理論上 最大想定モデル
全壊・ 焼失軒数	震度	6弱	大半が6強
	揺れ	約300軒	約3,600軒
	液状化	約1,100軒	約1,100軒
	浸水・津波	わずか	約60軒
	急傾斜地崩壊等	わずか	わずか
	火災	約10軒	約1,700軒

過去地震最大モデル

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいもの(宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震)を重ね合わせたモデル。

理論上最大想定モデル

南海トラフで発生するおそれのある地震・津波のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を想定。千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いもの。

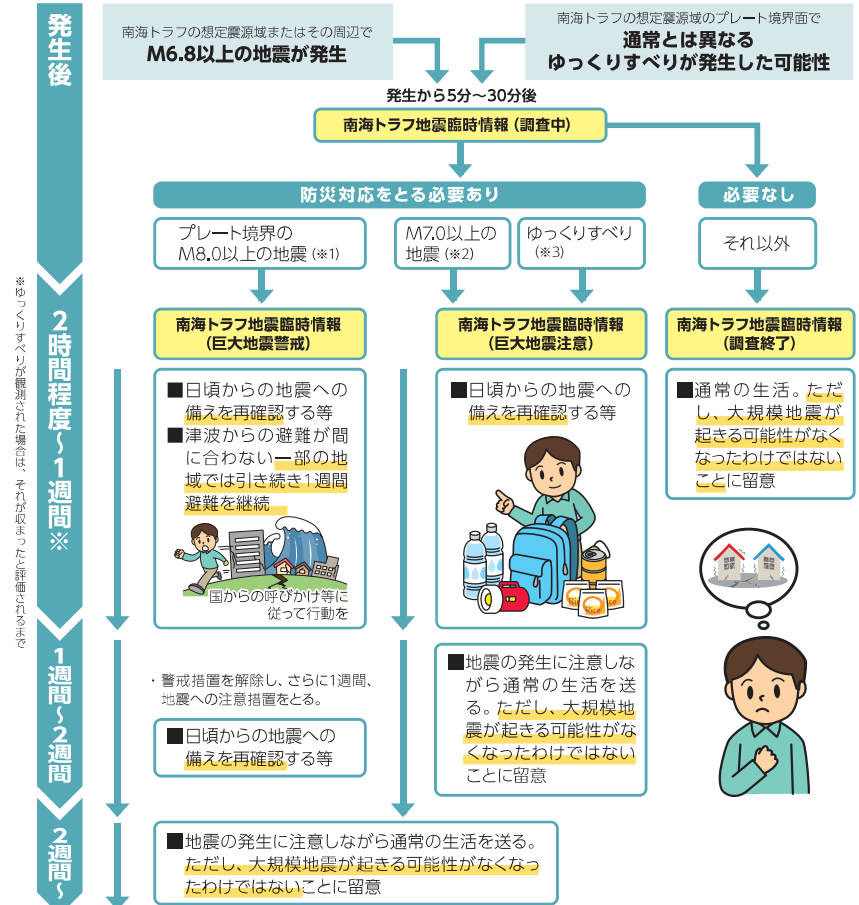
南海トラフ地震臨時情報



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- 南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- 政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



※1 想定震源域のプレート境界でM8.0以上の地震が発生
 ※2 想定震源域、またはその周辺でM7.0以上の地震が発生 (ただし、プレート境界のM8.0以上の地震を除く)
 ※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

作成：内閣府・気象庁 発行：令和元年6月 リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」より

震度とゆれの状況

震度 4

震度4

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度 5弱

震度5弱

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度 5強

震度5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちる物が多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 6弱

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い 耐震性が低い

震度 6強

震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が高い 耐震性が低い

震度 7

震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

耐震性が高い 耐震性が低い

出典：気象庁ホームページ 「震度について」

震度とマグニチュードの違い

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ（規模）を表すものさしです。一方「震度」は、ある大きさの地震が起きた時のわたしたちが生活している場所での揺れの強さのことを表します。

マグニチュードと震度の関係は、例えば、マグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、マグニチュードの大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。

震度分布マップ ▶P72

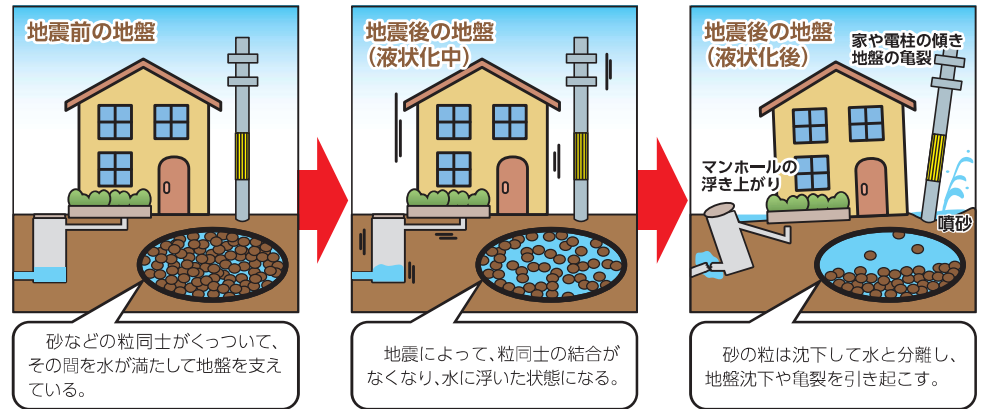
あま市の地形的特長

あま市は、木曾川水系や庄内川水系によって形成された厚い沖積層上にあり、標高は1m未満で市全域が起伏のほとんどない平坦地です。また、軟弱な地盤が広域を占めるため、地震発生時における建物の倒壊や液状化現象の危険性が高い地域でもあります。

液状化現象とは

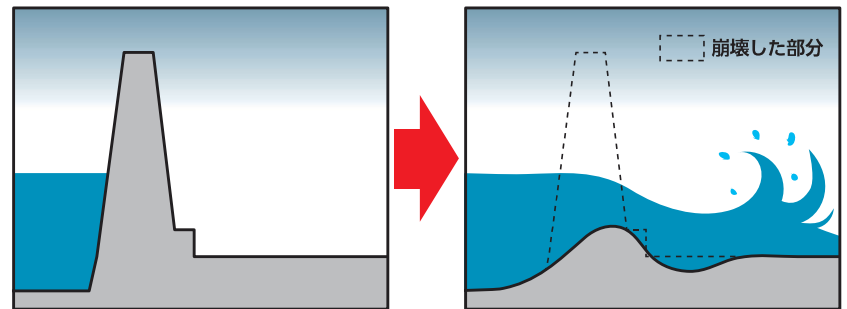
液状化現象とは、地震が発生したときに地盤が液体状になり、比重（単位体積あたりの質量）が高い建物が埋もれたり、下水管など地下埋設物が浮き上がったりする現象です。

この現象は、同じ成分の砂を多く含む地盤が地下水を多く含んでいる状態のときに発生しやすい傾向にあります。このような地盤は砂の粒子どうしで支えあっていますが、地震で繰り返される振動により地中の地下水の圧力が高くなり、粒子がバラバラになって地下水に浮いたような状態になります。



液状化による堤防の破堤

液状化現象から、堤防付近で地盤沈下が起こることにより、堤防が破堤する可能性があります。破堤したときには、川から出来る限り離れて避難しましょう。



液状化危険度マップ ▶P73

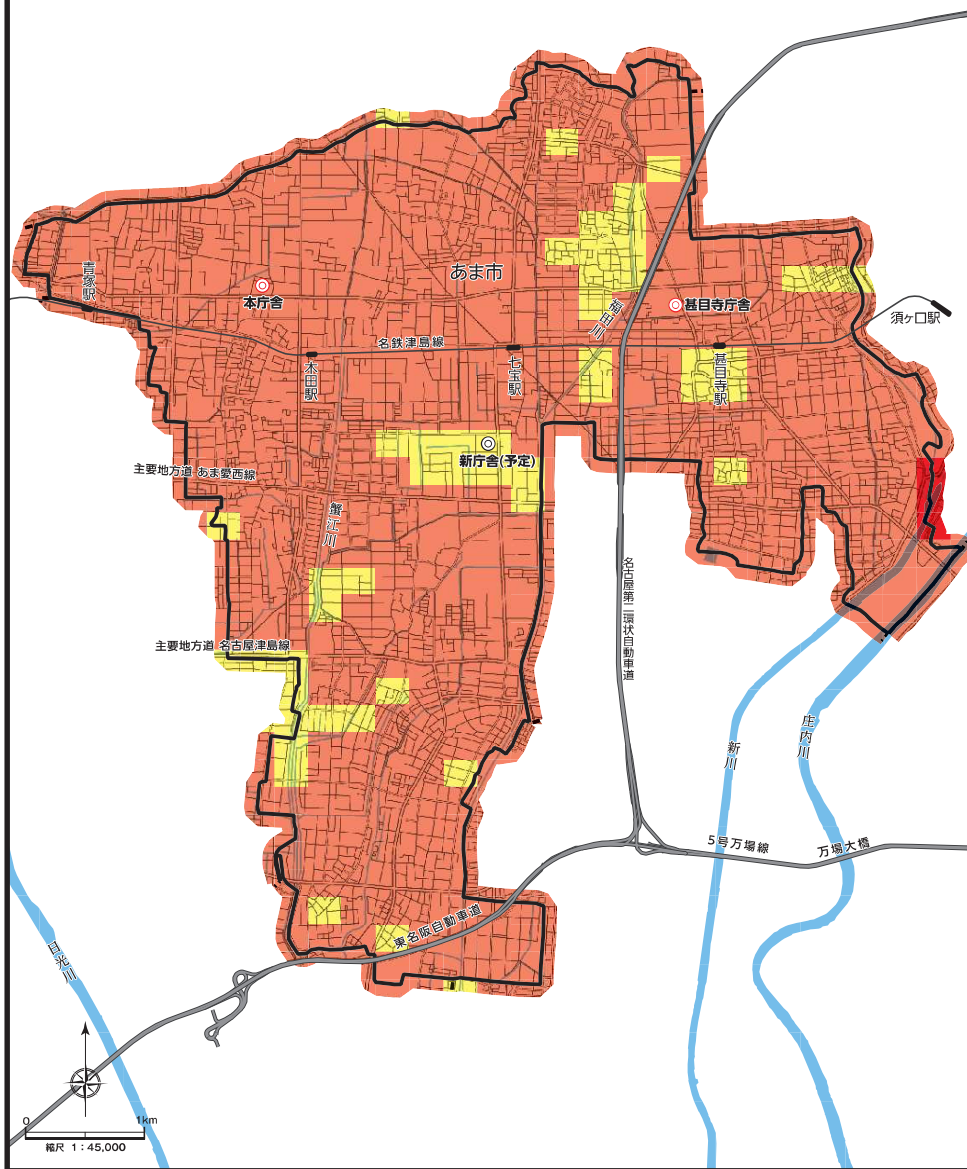
震度分布マップ

震度階級

- 6弱
- 6強
- 7

このマップは、愛知県から公表された「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書」から、南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、最大クラスの地震のデータをもとに、地図上に示したものです。

震度分布マップは、南海トラフで発生する恐れがある地震において、愛知県で公表された理論上最大のものを想定した震度状況を、250mメッシュごとに解析計算して示したものです。



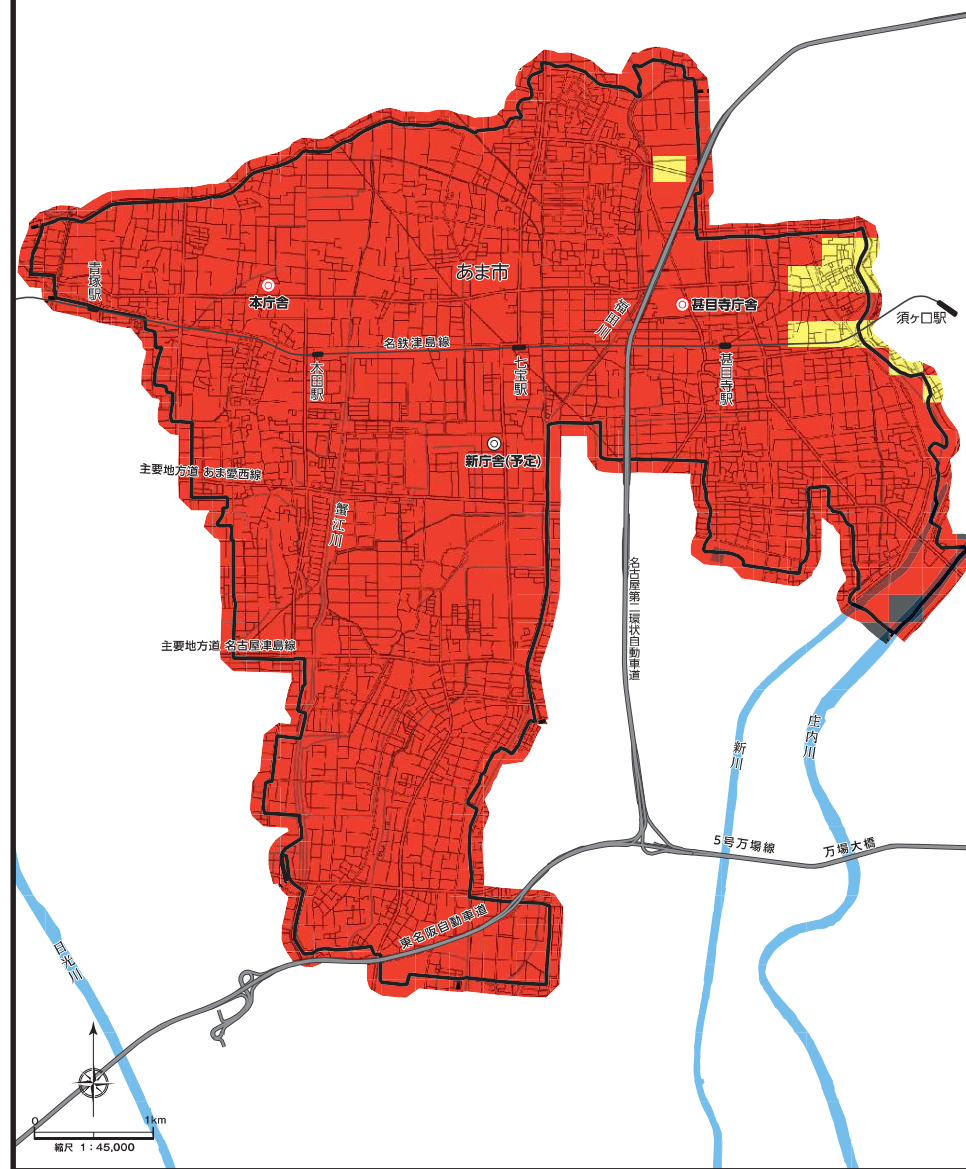
液状化危険度マップ

液状化危険度

- 高い
- 極めて高い
- 計算対象外

このマップは、愛知県から公表された「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書」から、南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、最大クラスの地震のデータをもとに、地図上に示したものです。

液状化危険度マップは、地震発生時における液状化現象の危険度を 250mメッシュごとに示したものです。



建物倒壊危険度マップ

建物全壊率

- 0 ~ 10 %
- 10 ~ 20 %
- 20 ~ 30 %
- 30 ~ 40 %

このマップは、愛知県から公表された「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書」から、南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、最大クラスの地震のデータをもとに、地図上に示したものです。



近い将来、東海地方にもマグニチュード8程度の
大規模な地震が発生すると考えられています。
あなたの家は大丈夫ですか？
地震が来る前に、耐震診断・改修をしましょう！！

無料耐震診断

耐震性に不安のある方に無料で市から専門家を派遣し診断を受けることができます。

対象となる建築物

昭和56年5月31日以前に建築された在来軸組構法及び伝統構法の木造住宅（一戸建て、長屋、共同住宅で貸家を含みます）
※3階建て以上、プレハブ、ツーバイフォー、鉄骨、鉄筋コンクリート造は対象外

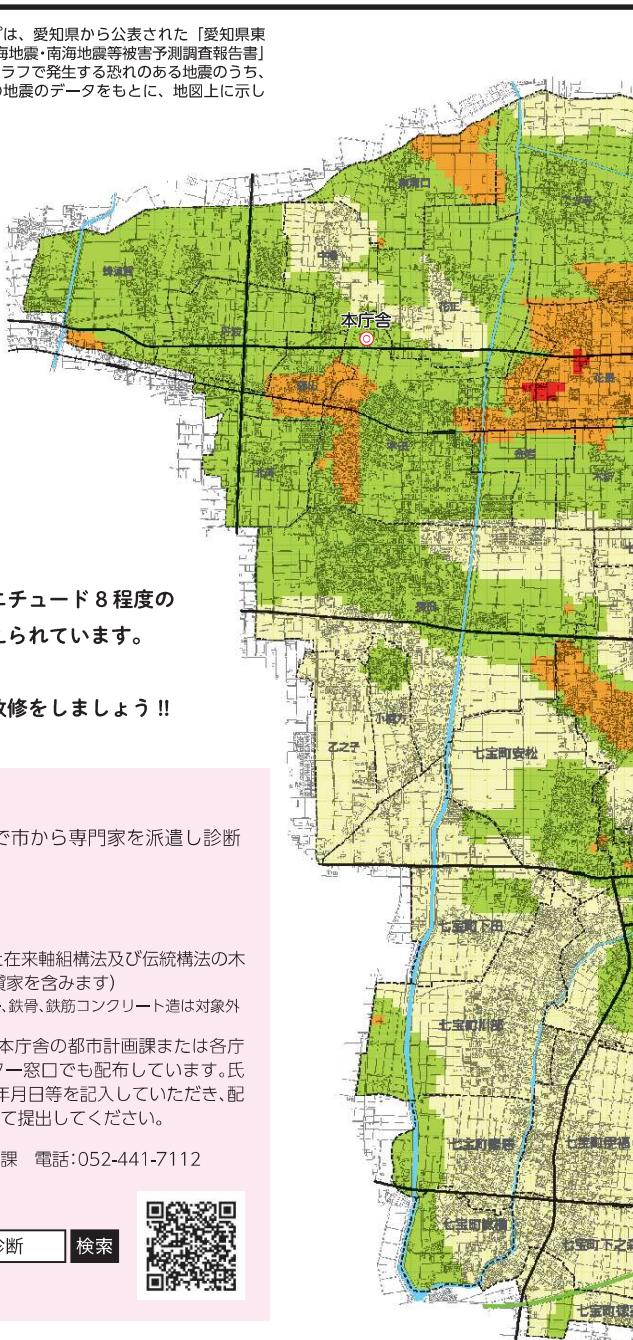
申込方法

耐震診断の申込書は、本庁舎の都市計画課または各庁舎市民サービスセンター窓口でも配布しています。氏名、住所、連絡先、建築年月日等を記入していただき、配布窓口かファックスにて提出してください。

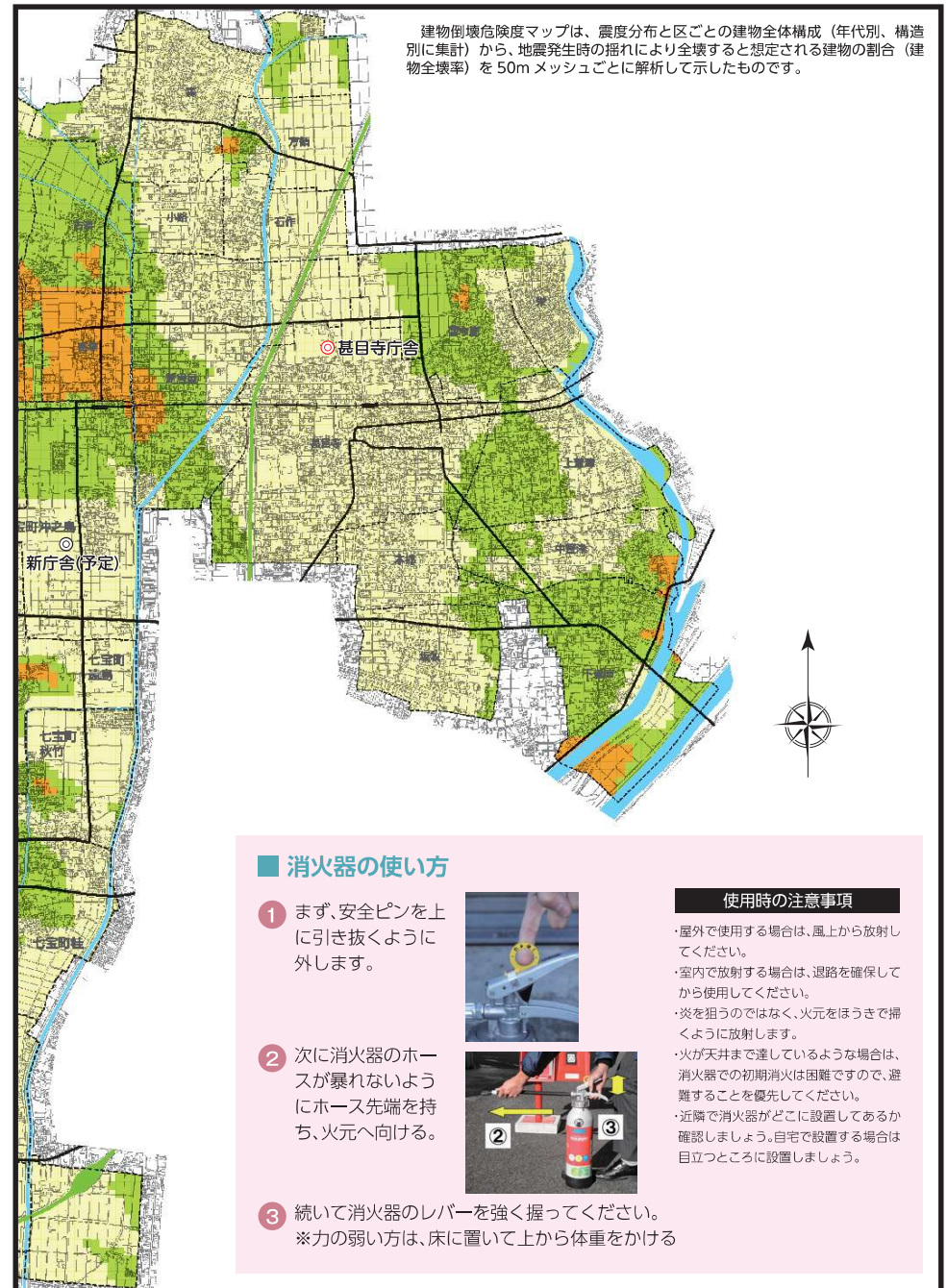
お問合せ

建設産業部 都市計画課 電話：052-441-7112

あま市 無料耐震診断 検索



建物倒壊危険度マップは、震度分布と区ごとの建物全体構成（年代別、構造別に集計）から、地震発生時の揺れにより全壊すると想定される建物の割合（建物全壊率）を50mメッシュごとに解析して示したものです。



消火器の使い方

- 1 まず、安全ピンを上
に引き抜くように
外します。
- 2 次に消火器のホースが
暴れないように
ホース先端を持ち、
火元へ向ける。
- 3 続いて消火器のレバーを
強く握ってください。
※力の弱い方は、床に置いて上から
体重をかける



使用時の注意事項

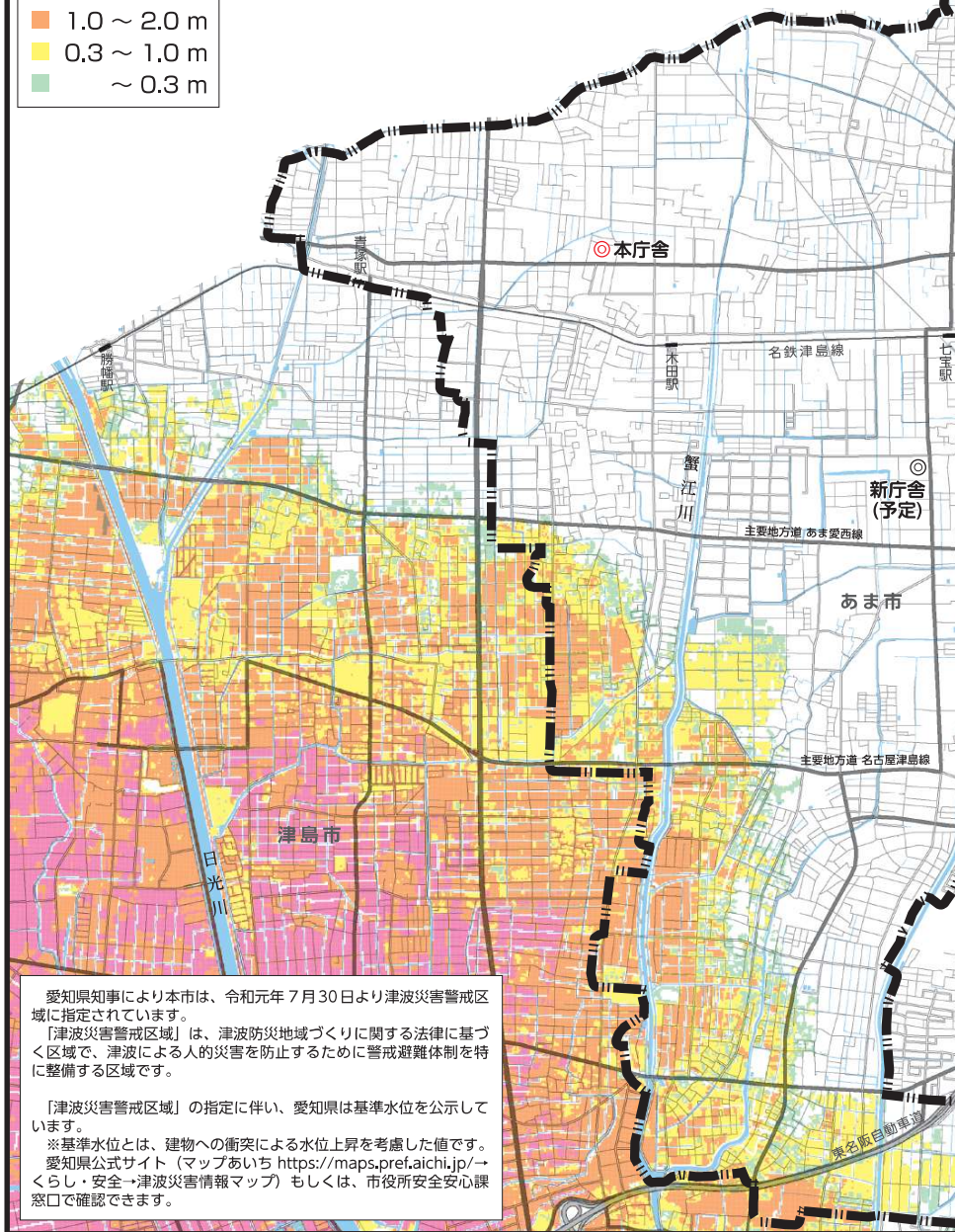
- ・屋外で使用する場合は、風上から放射してください。
- ・室内で放射する場合は、退路を確保してから使用してください。
- ・炎を狙うのではなく、火元をほうきで掃くように放射します。
- ・火が天井まで達しているような場合は、消火器での初期消火は困難ですので、避難することを優先してください。
- ・近隣で消火器がどこに設置してあるか確認しましょう。自宅で設置する場合は目立つところに設置しましょう。

津波浸水予測マップ

最大浸水深

- 2.0 ~ 5.0 m
- 1.0 ~ 2.0 m
- 0.3 ~ 1.0 m
- ~ 0.3 m

このマップは、愛知県から公表された「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書」から、南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、最大クラスの地震のデータをもとに、地図上に示したものです。



愛知県知事により本市は、令和元年7月30日より津波災害警戒区域に指定されています。
 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律に基づく区域で、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備する区域です。
 「津波災害警戒区域」の指定に伴い、愛知県は基準水位を公示しています。
 ※基準水位とは、建物への衝突による水位上昇を考慮した値です。
 愛知県公式サイト（マップあいち <https://maps.pref.aichi.jp/>）
 くらし・安全→津波災害情報マップ）もしくは、市役所安全安心課窓口で確認できます。



逃げる！

津波から身を守るには「逃げる」が一番の方法です。強い揺れを感じたら、いつでも逃げられるようにしてください。沿岸部や川沿いにいた場合は、早急に高台やできるだけ高い建物へ避難してください。

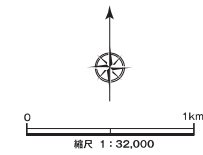


揺れを感じなくても、

津波に関する警報が発令された場合は、速やかに浸水想定区域外へ避難してください。

気象庁は地震発生から約3分を目安に津波の警報・注意報を発表します。

警報・注意報が解除されるまでは安全な場所で避難を継続しましょう。



津波浸水予測マップは、地震発生時の液状化にともなう破堤により、河川がはんだした場合に想定される浸水範囲や浸水深を10mメッシュごとに示したものです。



その他の災害編

原子力災害

原子力災害とは、原子力発電所などから放射性物質や放射能が漏れ、周辺に影響を及ぼすことをいいます。
愛知県周辺には原子力施設が存在していますので、発生した場合に備えて基本的な知識と正しい対処法を知っておきましょう。

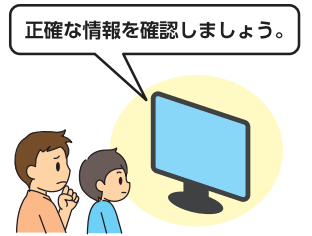
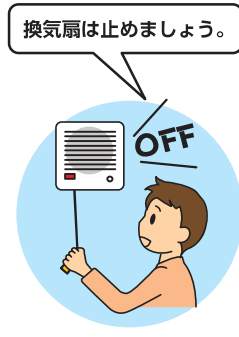
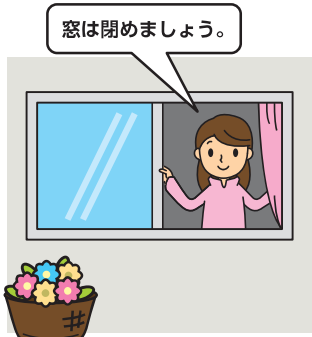
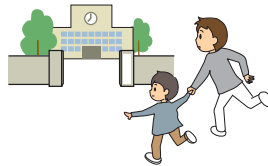


原子力災害に備えて

■ 屋内退避が安全への第一歩!!

屋内退避することで、建物の気密性と遮へい効果により、放射線による影響を回避したり、低減させることができます。

■ 屋内退避時のポイントは「落ち着いた対応が大切」



※災害が発生するとインターネット上では様々な情報が飛び交い、真偽のわからない情報などデマの情報も流れてきます。正確な情報入手するために、情報源が報道機関や行政機関など信頼できるものであるかを確認し、デマに惑わされないようにしましょう。また、状況は刻々と変わっていくため、いつの時点の情報なのか確認をするようにしましょう。

国民保護情報とは

我が国に対する外部からの武力攻撃から国民の生命、身体又は財産を保護するために、地域の方々に注意を呼び掛けるための情報です。実際にこうした事態に遭遇してしまった場合に、一人ひとりが冷静に行動することが大切になります。そのためには、日頃から、こうした事態に遭遇した場合にどのように対応したらいいのか、その際に必要なものは何かなどについて、家族も含めて心得ておきましょう。

情報伝達方法

住民が適切な避難を速やかに行うためには、住民に正確な情報を迅速に伝達することが重要であることから、政府は関係する地域の住民に対して「**全国瞬時警報システム(Ｊアラート)**」を使用して情報伝達します。
また、テレビ、ラジオなどの放送や広報車両などを通して、**どのようなことが、どこで発生したあるいは発生するおそれがあるのかみなさんにどのような行動をとってほしいのか**といった警報の内容をお伝えします。

■ 通知される情報の種類

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- グリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- その他緊急に伝達することが必要な情報



火山について

日本には110の活火山があります。
愛知県内には存在しませんが、旅行等で被災する可能性もありますので、火山についてよく知ることが大切です。
※活火山とは、「概ね1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動がある火山」と火山噴火予知連絡会により定義されています。

噴火警戒レベル

火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲(生命に危険を及ぼす範囲)」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分した指標のことです。火山噴火予知連絡会によって選定された50火山のうち、48火山(令和元年7月現在)で運用されています。

種類	名称	対象範囲	レベルとキーワード	説明(火山活動の状況)
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
			レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
			レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。

大きな地震の後、数年内に火山が噴火するといわれています。

噴火速報

噴火速報は、噴火の発生事実を迅速に伝える情報で、登山者や住民に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動を取っていただくために気象庁から発表されます。
噴火速報が発表されたときは、**直ちに身の安全を図る必要があります。迷っている時間はありません。**

■ 噴火が起きたとき

- コンクリート製などの頑丈な建物の中へ避難する。
- 登山中であれば、近くの山小屋やシェルター、岩陰などの身を隠せる場所に避難する。
- ヘルメット・ゴーグルを着用し、マスクや湿らせたタオルなどで口を覆う。

参考:内閣府・気象庁作成の「火山への登山のそえ」



避難と準備編

避難する

避難行動は、災害の状況や避難の目的によって変わってきます。本冊で確認した災害別の避難行動を基に、いざという時どのように行動するのか、家族と話し合っておきましょう。

避難の目的	逃げるタイミング	避難の種類
いのちを守るための避難	災害発生前、災害発生直後	立退き避難 ▶市が指定した当該災害に対応した避難場所への避難 屋内安全確保 ▶その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動
仮の生活を送るための避難	災害発生後、落ち着いたら	市が指定する 避難所 への移動または 在宅避難



既に周辺で災害が発生している場合など、立退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねない自ら判断する場合は、**少しでも命が助かる可能性の高い避難行動**を取りましょう。

避難時に注意すること

- **動きやすい服装で**
避難するときは、動きやすい格好にしましょう。
- **集団で避難する**
一人で行動しないで、二人以上での行動を心がけましょう。
- **隣近所への呼びかけ**
近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。

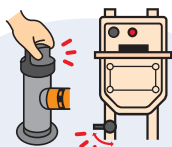


避難する前に

- **家を空ける前に、二次災害を防止するためにすべきことを確認しておきましょう。**



空き巣や、火災の延焼を防ぐため戸締まりを忘れずこ！



家を出るときには、忘れずにガス・水道の元栓を閉める。



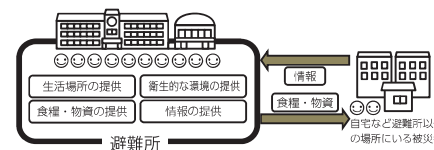
電気が復した時に、壊れたり倒れた電化製品に通電して火災が発生することを防ぐため、電気のブレーカーをOFFにする。(地震ブレーカーの取り付けも効果的)

避難所の役割

災害が起きたとき、避難所は、水道や電気、ガスなどのライフラインが復旧するまで、被災した人々が共同で生活する場所になります。

また、避難所以外の場所に滞在している被災した人に対しても、情報や、水、食糧、物資を提供するなど、地域の復旧・復興を支援するための地域の拠点施設としての役割も担います。

避難所を利用するときは、受付時に「避難所登録者票」の記入が必要です。災害時の受付は混雑も予想されるため、あらかじめ記入して、災害時に持参していただくこともできます。詳細は市公式ウェブサイトを確認ください。さまざまな事情から在宅や車中で避難をする人は、支援が必要な場合、避難所で支援を受けるための情報を登録し、必要な支援を申し出ましょう。



在宅避難という選択

市が開設する避難所は、収容人数や援助できる範囲に限りがあります。自宅の安全が確保されており自宅での避難生活が可能な方は、「**在宅避難**」も**選択肢のひとつ**になります。在宅避難のためには「事前の準備」が重要となりますので、日頃から備えをしておきましょう。

■ 簡単！ローリングストック

「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。



避難所生活での健康管理について



水分をしっかりととりましょう。

- 脱水症状の予防などには、十分な水分の補給が必要です。
- トイレに行かなくても済むように、水分をとらないでいることは危険です。
- 水分は、アルコールやコーヒー以外のものにとりましょう。(飲む以上に尿を出すことがあります。)

夜間の十分な睡眠・休息をこころがけましょう。

- なかなか眠ることができないときは、体だけでも休めましょう。
- 不眠で困っている方は、巡回の保健師等に相談してください。



手洗い・うがいをこまめに行い、マスクを着用しましょう。

- 多くの人が出入りする避難所では、かぜがはやりやすかったり、のどや肺への負担が大きくなりがちです。

慢性疾患などの薬を飲んでいる方は、薬がなくなる前に医療機関を受診するか、巡回の保健師に相談してください。

- 薬がきれると体調が悪化する可能性があります。
- 薬を調達するのに、時間がかかることも考慮しましょう。



意識して体を動かすようにしましょう。

- 避難所生活では、普段よりじっとしていることが多く、体を動かすことが少なくなりがちです。
- 同じ姿勢をとり続けたり、体を動かすことが少なくなると、筋力が低下したり、関節が硬くなってしまったりすることがあります。

知っておきたい応急手当

出血がひどかったら

1 傷口を圧迫する (直接圧迫止血法)

きれいなガーゼやハンカチを傷口に直接当て、血が止まるまで手で強く圧迫する。大きな血管からの出血の場合で片手で圧迫しても止血しないときは、両手で体重を乗せながら圧迫止血をする。



2 止血帯を巻く (止血帯法)

手足の太い血管損傷による出血や骨折などで、直接圧迫止血法では止血が困難な場合に行います。巻き方は、①傷口より心臓に近い部分をタオルやスカーフなどでかたく結び、②棒などを結び目に差し込み、回転させて締め上げて固定する。止血帯は、できるだけ幅の広いもの(3cm以上)を用いる。30分以上続ける場合には、30分に1回止血帯をゆるめ、血流の再開を行う(巻いた時間を書いておくといふ)。

熱傷 (やけど) をしたら

比較的小さいやけどであれば、できるだけ早く、きれいな冷水で15分以上痛みが無くなるまで冷やす。十分冷やしてからきれいなガーゼを当て、三角巾や包帯などをする。



骨折の疑いがあったら

- 1 骨折の部位を確認する ●どこが痛いか聞く。 ●痛がっているところを確認する。 ●出血がないかを確認する。

- 2 患部を固定する 添え木をあて、骨折した部分の上と下の間接を固定して、患部がずれないようにする。添え木は板、かさ、ダンボール、雑誌などでもよい。



あま市防災情報メールに登録を!!



あま市では、風水害や地震などの自然災害における避難所開設等の情報をメールでお知らせする「あま市防災情報メール」のメール配信システムを運用しています。

避難所開設等の避難情報のほかに、各種気象警報や地震情報などを気象庁等から直接取得し、自動で配信することになり、より迅速に災害情報を得ることができます。

迅速に災害情報を得ることにより、様々な災害から身を守ることもできるため、ぜひご登録ください。

あま市防災情報メールの配信内容

- 各種気象警報
- 地震情報
- 災害時の避難所開設情報
- 避難関連情報(避難準備、避難勧告等)
- その他



利用について

このメールサービスは、どなたでもご利用できますが、あらかじめ携帯電話やPHS、パソコンでの登録が必要となります。登録料は無料ですが、メール受信に係る通信料は利用者の負担となります。

登録の前に

登録の前に、迷惑メール対策をしている場合はメールを受け取れない場合があります。ama-city@raidan.ktaiwork.jpからのメールを受信可能にしてください。URL付きメールの受信を許可するように設定してください。

空メール送信

右記二次元コードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。二次元コードを読み取れない方は、bousai.ama-city@raidan.ktaiwork.jpに空メールを送信してください。別途、登録用メールが届きます。

登録

内容を確認し、「登録」ボタンを押してください。「登録の完了」と表示されたら登録は完了です。しばらくして、登録完了のお知らせメールが届きます。



災害時の避難情報等を無料で固定電話にお知らせします

災害情報電話通報サービス

携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方やメールを見ることができない方を対象に、防災情報を固定電話にお知らせするシステムを導入しております。(※「災害情報電話通報サービス」のご利用には、電話番号等の登録が必要です。)

お知らせする情報 避難情報の発令、避難所の開設など

お知らせするとき

- 「避難準備・高齢者等避難開始」(警戒レベル3)を発令したとき
- 「避難勧告」(警戒レベル4)を発令したとき
- 「避難指示(緊急)」(警戒レベル4)を発令したとき
- 命を守る最善の行動を求める場合(警戒レベル5)既に災害が発生
- 避難場所を開設(増設)した場合



登録の対象となる方

携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方、視覚障がい者

申込先・問合せ先

あま市 総務部 安全安心課 TEL 052-444-0862

その他

- テレビ・ラジオ
- 市公式ウェブサイト

市公式
ウェブサイト




情報収集に関する心構え

緊急性の高い情報は、広く広報しますが、より確実に情報を受け取るためには、災害の恐れが高まっていると感じたら、自らテレビ、ラジオ、インターネットなどで情報を取りに行く姿勢が重要です。

マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」とは、台風の接近によって河川の水位が上昇するときなど、災害の発生を前提に自分自身がとる防災行動をあらかじめ時系列的に整理し、取りまとめる行動計画表です。

急な判断が迫られる洪水発生時に、自分自身の行動の指針となるため、自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握して「マイ・タイムライン」を作成し、「自分たちの逃げ方」を事前に把握しておきましょう。

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など注意の呼びかけ	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告 避難指示(緊急)	災害発生情報
必要な情報	早期注意情報 大雨に関する気象情報	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報 (大雨や洪水となる3~2時間前程度)		
	風に関する気象情報	強風注意報	暴風警報 (暴風となる6~3時間前程度)		
	高潮に関する情報	高潮注意報 ※高潮氾濫危険情報などを確認	高潮警報 (高潮となる6~3時間前程度)		
	河川の氾濫に関する情報	氾濫注意情報 ※氾濫情報が発表されない河川では洪水警報・大雨警報(数時間~1時間前程度) (浸水害)の危険度分布を見ながら危険度を確認	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める	ハザードマップ等で避難行動を確認	高齢者等は速やかに避難	全員避難	
記入例	祖父・祖母 避難準備(準備に要する時間約60分)	避難経路と避難場所を再確認	避難を開始(避難に要する時間約60分) → 避難完了		
	父・母・子		避難準備(準備に要する時間約60分)	避難を開始(避難に要する時間約40分) → 避難完了	
わが家の行動					避難する場所 

災害発生

災害に備え非常持ち出し品の準備をしておこう

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。また、自宅が被災したときは、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。避難所生活に必要なもの(非常持ち出し品)をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

チェックリスト

※何を必要とするかは、家族状況やお住まいの地域によっても異なります。日ごろから家族で話し合きましょう。

貴重品

- 現金(小銭を含む)
- 車や家の予備鍵
- 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
- 銀行の口座番号・生命保険契約番号など
- 健康保険証
- 身分証明書(運転免許証、パスポートなど)
- 印鑑
- 母子健康手帳

情報収集用品

- 携帯電話(充電器を含む)
- 携帯ラジオ(予備電池を含む)
- 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 広域避難地図
- 筆記用具

便利品など

- 防災頭巾またはヘルメット
- 懐中電灯(予備電池を含む)
- 笛やブザー(音を出して居場所を知らせるもの)
- 万能ナイフ
- 使い捨てカイロ
- マスク
- ビニール袋
- アルミ製保温シート
- 毛布
- スリッパ
- 軍手または皮手袋
- マッチまたはライター
- 給水袋
- 雨具(レインコート、長靴など)
- レジャーシート
- 簡易トイレ

食糧など

- 非常食
- 飲料水(3日以上。可能な限り1週間分程度)

清潔・健康のためのもの

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- タオル
- トイレトペーパー
- 着替え(下着を含む)
- ウェットティッシュ
- 歯ブラシ
- 消毒液・石鹸

その他

- 紙おむつ(幼児用・高齢者用)
- 生理用品
- 粉ミルク・哺乳瓶・液体ミルク
- 体温計・マスク(感染症予防対策用)
- ビニール手袋
- その他自分の生活に欠かせないもの

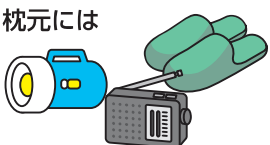
地震などの広域災害の場合、救援物資がすぐ被災地に届くわけではありません。非常持ち出し品、3日以上(可能な限り1週間分程度)の飲料水と食糧、医薬品等を日ごろから準備しておきましょう。

家族のためには



※予備メガネ、補聴器、持病の薬、お薬手帳など、家族に応じた非常持ち出し品を考えましょう。

枕元には



※夜、地震が起きた場合に備えて用意しておきます。飛び散らないように袋に入れておきましょう。

車の中や倉庫等には



※パール・ジャッキ、テント、毛布・寝袋・ビニールシートなども車の中や取り出しやすい場所に用意しましょう。

避難所マップ

風水害編

地震編

その他の災害編

避難と準備編

避難所マップ

風水害編

地震編

その他の災害編

避難と準備編

わが家の防災メモ

わが家の避難所

家族の集合場所

災害時の緊急連絡

家族の名前	生年月日	血液型	携帯電話番号	会社・学校の連絡先

災害伝言ダイヤル「171」

災害伝言ダイヤル「171」は、地震などの災害発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に利用できます。利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。

災害発生に備えて、事前に体験利用できます。<体験利用が可能な日時>

- 毎月1日及び15日 00:00～24:00
- 防災週間 (8月30日9:00～9月5日17:00)
- 正月三が日 (1月1日00:00～1月3日24:00)
- 防災とボランティア週間 (1月15日9:00～1月21日17:00)

災害伝言ダイヤル「171」のかけ方

伝言録音方法

171

↓ ガイダンスが流れます

1 (暗証番号を利用する場合は3)

↓ ガイダンスが流れます

(052) ■■■■-■■■■

被災地の方の自宅の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

↓ ガイダンスが流れます

録音 (30秒以内でお話してください)

伝言再生方法

171

↓ ガイダンスが流れます

2 (暗証番号を利用する場合は4)

↓ ガイダンスが流れます

(052) ■■■■-■■■■

被災地の方の自宅の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

↓ ガイダンスが流れます

伝言再生します

※録音された伝言は、被災地の方の電話番号を知っている全ての方が聞くことができます。
※暗証番号(任意の数字4桁)により、暗証番号を知っている方のみ再生することができます。

本誌に関するお問い合わせ先

あま市 総務部 安全安心課 Tel. 052-444-0862

発行／あま市 総務部 安全安心課
株式会社ゼンリン 名古屋営業所

2021年3月発行 (掲載情報は、2021年1月時点のものです。)

〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 293-126号〕
〔この地図は、あま市長の承認を得て同市所管の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。31あ都第208号〕
〔JIS Z 8210 避難所(建物)〕
本文中の地図は、2020年5月発行の住宅地図をもとに作成したものです。
無断で複写・転載することをご遠慮ください。